



農林水産省登録
第16959号

芝生用除草剤

ウェイアップ®フロアブル

ペンディメタリン水和剤

除草剤分類 3

成分 ペンディメタリン(化管法1種).....45.0%
〔N-(1-エチルプロピル)-3,4-ジメチル-2,6-ジニ
トロアニリン〕
水、界面活性剤等.....55.0%

性状 黄緑色水和性粘稠懸濁液体



®=BASF社の登録商標

製造 BASFジャパン株式会社

本社 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階

☎0120-014-660 <https://turf-ornamentals.basf.co.jp>

安全使用上の注意



● 散布時は、農業用マスク、不浸透性手袋、長スボン・長袖作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。



● 公園、堤とう等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。

- 使用残りの薬剤は、必ず安全な場所に保管する。
- 水源池、養魚池等に本剤が飛散、流入しないように十分に注意する。
- 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さない。空容器等はほ場などに放置せず、環境に影響を与えないように適切に処理する。
- 本剤は着色するので、衣服、散布器具、散布車や周辺の状況などに十分に注意して散布する。
- 散布時や散布液乾燥前にゴルフプレーヤーが立ち入ることがないように注意して散布する。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。
- 移送取扱いは、ていねいに行う。

- ラベルをよく読む。● 記載以外には使用しない。● 小児の手の届く所には置かない。● 空容器は3回以上水洗し、ほ場などに放置せず、適切に処理する。● 洗浄水はタンクに入れる。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきる。
- 使用前に、よく振ってから使用する。
- 所定量を所要量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布する。散布液調製後は速やかに使用する(分解)。
- 雑草発生前～発芽時処理の効果が高く、雑草の生育が進むと急激に効果は低下するので、使用時期を誤らないように注意する。
- 散布時は、雑草及びサッチ等を除去した後、使用すると効果的である。
- イネ科及び広葉の一年生雑草に効果があるが、キク科雑草、ツユクサには効果が劣るので、これらの雑草の優占ほ場では使用しない。
- 魚毒性・・・河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意(藻類)。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 保管・・・密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷蔵な所。
- 土壌が乾燥している場合には効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めに散布する。
- 植付け直後の芝生には生育抑制などの薬害を生ずることがあるので使用しない。
- 激しい降雨が予想される場合は使用をさける(効果・薬害)。
- 散布薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分に注意して散布する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
				薬量(g)	希釈水量(ℓ)			
西洋芝 (パーミューダグラス) 日本芝	—	畑地 一年生雑草 (キク科を除く)	芝生育期 (雑草発生前)	400~900 (0.4~0.9 g/m ²)	200~300 (200~300) mℓ/m ²)	3回 以内	全面土壌 散布	3回以内
樹木等	鉄道 道路 公園 運動場 庭園 宅地 堤とう のり面等 駐車場		雑草発生前				植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に全面 土壌散布	

製造場 北興化学工業株式会社 新潟工場
新潟県新発田市佐々木2661-1

最終有効年月(西暦下2ケタ)



NJG2305